



# 校長室だより

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和4年4月13日  
第2号

毎朝、荻っ子たちが元気に登校してくる姿に力をもらっています。  
諸事情により本校の児童玄関の解錠は7時45分と決まっていますが、早い子はその15分くらい前から玄関前で待っています。学年別に並び、ほどほどにおしゃべりをしながら待っているかわいい子供たちです。今年度より朝の検温カードをランドセルの外側に付けて登校しているので、私は大急ぎで（子供たちが玄関に入る前に）そのカードをチェックします。子供の顔を見るというよりカードばかりを見てしまいそうになりますが、それでも、一人一人の子供に声をかけて朝一番の様子を見ることが出来る貴重な時間です。



## 現時点での感染症予防対策について

この丸2年間で新型コロナへの感染予防対策も度々アップデートされ、withコロナとも言える段階になってきています。学校には「子供の学びを止めない」という重要なミッションもあり、より現実的な対応が求められています。

去る1月に行われた学校向けの講演会では、日本赤十字看護大学の下間正隆先生（感染制御学）が感染予防の基本対策として、①距離がとれない時はマスク ②手指衛生（特に指先をきれいに）③換気 ④黙って食べる の4点を話されました。子供同士が関わり合って学び合う学校現場の実態に合ったポイントだと思います。もちろん、日常的な健康管理（朝や食事前の検温等）、そして学校では濃厚接触の状況（双方マスクなしで1m以内15分間以上）を作らないといった点にも注意が必要です。その上で、子供の成長にとって必要だと思われる教育活動はどのようにすれば実現できるかを考え、工夫し、必要以上に萎縮せずしっかりと取り組んでいきたいと考えています。なお、感染者が出た場合は、厚生センターからの指導を最優先に受け止めつつ、実情に応じて対応していきます。



下間先生直筆のイラスト

## かわいい1年生が入学しました

去る8日（金）に入学式を行いました。今年は在校生も全学年が会場に入り、皆で1年生の入学をお祝いしました。

主役の1年生も実にしっかりとした態度でした。式辞や祝辞、司会の言葉をよく聞いて反応していました。

その後の教室では、1年担任の広田雅先生が「いのちを大切にしましょう」と子供たちに語りかけていました。あおぞら級の根塚晴美先生と2人で1年生24名を担当していきます。

今週11日（月）からは1年生の給食も始まりしました。黙食のルールを守ろうと気をつけながらも、にこやかに食事をしています。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。

## 安全に気を付けて登下校を

11日(月)の午後に青パト隊の出発式を行いました。全校が集団下校の準備をして集まった体育館に、若栗駐在所の貫和巡査長さんや公民館の前田館長さん、自治振興会の松島会長さんらが来てくださいました。車でパトロールする青パト隊のほかにも、交差点等に立ってくださる見守り隊、犬の散歩を兼ねて子供を見守ってくださるワンワンパトロール、そして こども110番の家等、地域の方が日頃から様々な方法で荻っ子のことを見守ってくださっています。ありがとうございます。

12日(火)には1・2年生の交通安全教室も行いました。班ごとに分かれて学校周辺の道路を歩きました。2年生が1年生をよくリードしていたからか、予定よりも短時間で全員がコースを回ることができました。

子供たちには、地域の方々への感謝を忘れず、そして自分の命は自分自身で守るという意識をもち、安全に気を付けて登下校をしてほしいと思います。



## シリーズ「教室におじゃまします」 4/12(火)4年 朝～国語科の巻

朝の時間は係ごとに分かれてポスターを作っていました。ことわざ、手話、クイズ、なぞとき等、学級生活を楽しく彩りそうな係をたくさん考えていました。自分たちで工夫して活動できそうですね。



続く1限は、国語の教科書の初め「詩を楽しもう」の学習でした。かえるの詩人としておなじみ草野心平さんの「春のうた」です。まず、春といて連想するものをいろいろ出し合い、その後「春のうた」を繰り返し数回、声をそろえて音読しました。

4年担任の平野梨恵先生は、ノートの使い方や音読のポイント等を示しながら、テンポよく授業を進めていました。そして4年生の子供たちの前向きなこと！先生が「場面の様子を思い浮かべながら音読しよう」という目当てを示す前から、子供たちの話題は自然とそうした内容になっていました。発言やつぶやきの中に素敵な言葉がたくさんありました。「かえるがうれしそうに散歩している感じかな」「久しぶりに地上に出てびっくりしているのかもしれない」「お昼寝をしようとしたときに大きな雲を見つけたのではないかな」「晴れだけど土はまだ軟らかいと思う。雪も少し残っているかな」等々、具体的な情景を想像しながら詩の世界を楽しんでいるのが素晴らしいと思いました。先生は子供の言葉を聞き漏らすまいと丁寧に黒板に書き、色分けをして内容を整理していました。



最後は各自が思い思いの読み方で音読を試していました。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想がありましたら、下に記入しご提出ください。